

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29107	レクリエーション実技 I	竹内 直人	1年次・前期	演習・1単位	卒業必修 レク指導員必修

授業の概要 / Course Outline
<p>本短期大学における教育課程上の重要な行事として、館山の自然環境を活用し、保育者を目指す本学学生としての資質の向上を図る宿泊を兼ねた集中講義である。</p> <p>3日間にわたり、様々なレクリエーションを体験し、またレクリエーション活動をグループ内で企画を立案する経験をする。</p> <p>レクリエーション活動終了後は、それぞれのグループで成果を発表し、振り返りを行う。</p>

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
保育・教育・福祉現場で行われている実際を知る	B-②、C-①
基本的なレクリエーション技術の習得を目指す	A-②、D-②
実践を通しての自己課題を見つける	C-②、D-①

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	0%	
レポート試験 Report Examination	20%	振り返りシートの記入
実技試験 Practical skill test	20%	レクリエーション企画の実践、発表を総合的に判断する
平常点評価 Continuous Assessment	60%	積極的な参加や取り組みについて総合的に評価する

教科書 / Textbooks
特になし

参考書 / Reference Books
特になし

予習・復習 / Preparation・Review
レクリエーション支援の目的を考え、レクリエーション活動を円滑に行うための方法をグループで共有しましょう。

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
授業最終回に講評を持ってフィードバックを行う。

特記事項 / Special Note

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	レクリエーション支援の方法(良好な集団づくりの方法)
	集団がまとまる仕組みを活かすプログラム、アイスブレイキング・モデル
02	レクリエーション活動の習得①: 幼児運動会種目
	レクリエーション支援のための様々な活動(幼児が実際に行っている運動会種目の体験)
03	レクリエーション活動の習得②: レクリエーション支援のための音楽にあわせた身体活動
	ポリ袋衣装を着用し、テーマに合わせてファッションショーを行う
04	レクリエーション活動の習得③: 幼児運動会種目
	レクリエーション支援のための様々な活動(幼児が実際に行っている運動会種目の体験)
05	レクリエーション活動の振り返り: 幼児運動会種目
	レクリエーション支援のための様々な活動を体験し、配慮されていた点等を振り返る。
06	地域におけるレクリエーション活動の企画・実施①
	ウォークラリー及び、その待機時間中に実施するレクリエーション
07	地域におけるレクリエーション活動の企画・実施②
	ウォークラリー及び、その待機時間中に実施するレクリエーション
08	レクリエーション活動の企画・実施①: 幼児を対象としたレクリエーション支援
	学生を8グループに分け、幼児に対するレクリエーション(運動遊び・伝承遊び)について、レク案を計画する。
09	レクリエーション活動の企画・実施②: 幼児を対象としたレクリエーション支援
	グループごとにレク案を計画する。
10	レクリエーション活動の企画・実施③: 幼児を対象としたレクリエーション支援
	グループで企画したレク案について実践・練習を行う。
11	プログラムの実施①
	グループで企画したレク案をもとに各グループが主導し、展開する
12	プログラムの実施②
	グループで企画したレク案をもとに各グループが主導し、展開する
13	プログラムの実施③
	グループで企画したレク案をもとに各グループが主導し、展開する
14	プログラムの実施と評価及び改善①
	学生によるプログラムの成果発表とフィードバック
15	プログラムの実施と評価及び改善②
	学生によるプログラムの成果発表とフィードバック